

日吉台の福祉

発行 日吉台学区社会福祉協議会

ホームページ <http://www.geocities.jp/hiyoshidainohukushi>

——平成23年 新年のご挨拶——

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、社会福祉協議会に多大のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

今年の夏は、猛暑日が続き、夏の平均気温は観測史上最高となったことから、「今年の漢字」には「暑」が選ばれた程でしたが、その反動からか年末年始は大雪となり、寒さ厳しい冬が予想されます。国内では、経済低迷・高齢者所在不明・政治不信・情報漏洩等さまざまな問題が次々と起こり、私たちを取り巻く社会環境もめまぐるしく変化しました。

日吉台学区におきましては、益々少子高齢化が進む中、高齢者世帯や独居老人が増加していることから、当学区社協では、新たに日常生活の困りごとを町内で助け合う「ききえあい事業」をスタートします。すべての人々が心豊かに、助け合い、支え合い、共に生きる「ふれあいのまち日吉台」を目指し、地域福祉活動の充実に向け、関係者一同努力してまいりますので、どうか皆様の更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

兔年の今年、皆様にとって健やかで幸多き年、また跳躍の年となりますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。

平成23年1月吉日

日吉台学区社会福祉協議会
会長 田中 良樹

社協・人推協・民児協共催 先進地視察の報告

日吉台学区社協は人推協、自主防災・民児協と共催で先進地視察研修を実施しました。

平成22年11月7日（火）に多くの参加者が神戸市の阪神淡路大震災記念「人と防災未来センター」を訪れ、初めにガイダンスルームにて 木村副センター長より 震災の経験と教訓を後世に残し、震災で得られた知識や知恵を世界に発信して防災・減災に取り組んでいることや、専任研究員をいち早く被災地へ派遣して震災の経験と教訓を伝える取り組みなど、世界



的な拠点としてのセンターの役割をお話いただきました。

つづいて、震災迫体験フロア（地震破壊のすさまじさを迫力ある大型映像と音響で体感）、震災の記憶フロア（震災直後や復興過程の生活・まちの姿をメッセージとグラフィックで解説）、防災・減災フロア（実験やゲームを通して、防災・減災に関する知識の学習）を見学し、ますます災害に備えて助け合い支えあいの町づくりの大切さを痛感しました。

“ふれあいサロン日吉台”活動報告

◆ふれあいサロン

◎11月24日（水曜日）ミニ運動会 70名参加

皆さん頑張っていました”赤組が優勝でした。

昼食はちらし寿司をご用意しました。

◎12月15日（水曜日）クリスマス会 79名参加

お昼ご飯には、ハヤシライス、サラダ、ゼリーを用意、おやつはシュークリームでした。お笑いの映像を楽しんだ後、ビンゴゲームをしました。



◆おでかけサロン

◎11月15日（月曜日）秋の京都散策と京料理 29名参加

枳殻邸・六波羅密寺、建仁寺の見学、祇園「京柿」でお弁当をいただきました。

◎12月13日（月曜日）延暦寺の「精進鍋」でほっこりと 32名参加

根本中堂で赤松住職の講話をお聴きした後、延暦寺会館で鍋を囲みました。希望者はお風呂を楽しみました。

《1月の予定》

◆ふれあいサロン

◎1月26日（水曜日）赤澤資郎、菊良咲子さんご夫妻によるお琴と尺八の演奏

お昼は大根炊き、ごはん他をご用意します。

※おでかけサロンは寒い時期なのでお休みです。

ふれあい農園の活動について

健康増進とふれあいを深めるため、素人ながら和気あいあいと毎週日曜日の午前中に、日吉台小学校体育館裏の空地に玉ねぎ、じゃがいも、さつまいも、大根や季節野菜を栽培しています。小学生とも授業の一環として、種まきや苗植え、収穫、また「昔の遊び、昔の生活」などの話をして学校との交流もしています。その他文化祭での収穫物販売や収穫したじゃがいもなどを使ってカレーライス食事会も例年行っています。

地域の皆様の参加もお待ちしています。



福祉のまちづくり講座の結果報告

当学区では、高齢化率が30%余りと進み、日常生活において、高齢者を狙う訪問販売等、消費者被害に対する不安が高まっています。

そこで、平成22年12月20日（月）13：30より、日吉台市民センターにて「消費者被害の現状 ～被害予防と被害後のサポート～」と題して、弁護士の向川さゆりさんを講師にお迎えして、25名の参加のもと日吉台公民館との共催で講座を開催しました。

講座の中では、高齢者や障害者の方が被害者となるケースが多発しており、「被害を未然に防ぐための周囲がどのように目配りをすればよいのか」や「被害を受けてしまった人をどのようにサポートすればよいのか」など、消費者トラブルの実態を数多く手掛けてこられた向川弁護士の具体例を交えたお話をお聞きし、消費者被害にあわない、またあいくい地域づくりについてのヒントを学ぶことができました。

地域福祉懇談会の結果報告

第2回地域福祉懇談会（ケア会議）は、平成22年12月7日（火）日吉台市民センターにおいて「認知症の人と家族の会」の服部節子さんを講師に招き、多数の参加者を得て、懇談会を開催しました。

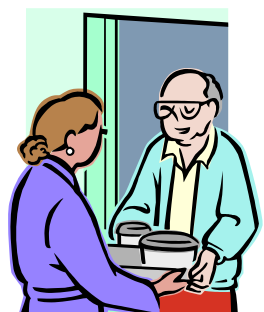
認知症の人を家族はどういう気持ちで介護しているのか、家族は地域にどんなことを求めているのか、地域は家族にどのように接すればいいのかなど、実体験にもとづいたお話をお聞きして、認知症になっても住み慣れた地域で家族とともに生活できること、ひとりで悩まず・恥じず・隠さず、地域で情報を共有することによって、ネットワークを広げていくことの大切さを示していただきました。

お話のあとは出席者全員でグループに分かれ、色々と意見交換をして有意義な会合を持つことができました。

ふれあい給食からの報告

毎月一回70歳以上の一人暮らしの皆様に「ふれあい給食」のお弁当をお届けしています。「地域福祉」の一つとして民生委員児童委員、福祉委員、給食ボランティア40名の方が3班に分かれ、各班が3カ月に一度心をこめて調理をしています。22年度の受給者は、38名です。配食の時に声をかけて、安否確認とともにふれあいを深めています。

今後も温かいお弁当と温かい善意がいつまでも続けていけることを願っています。



「福祉事業賛助金」のお礼

「福祉事業賛助金」に前号以降でご協力いただいた方のご芳名を、お礼を兼ねて紹介させていただきます。誠にありがとうございました。

日吉台一丁目…坂本 憲三様、山田 栄様、村田 俊武様、村田 きよ様

日吉台二丁目…中尾 善三郎様、原口 頌子様、宮崎 勝治様、森寄 隆之様

日吉台三丁目…松茂良 祥夫様、清水口 稔様、清水口 洋子様

日吉台四丁目…星田 清義様、星田 知恵子様